



後期スタート！学校のリーダーも3年生から2年生にバトンタッチ！

17日に前後期切替式を行い、後期がスタートしました。式では、各学年の代表が前期を振り返り、後期に向けての抱負を語ってくれました。私からは、「日々の自分の姿、言動、考えを客観的に見つめるもう一人の自分を意識してほしい。今の自分の姿でいいのかを問いかけ、自分をよりよい方向へ向けていくことができるようにしてほしい。」とお話をしました。

新しい角中のリーダーは・・・

18日に全校生徒会役員選挙のための立会演説会並びに投票が行われました。立候補者は皆、角中への思いがあふれる前向きで意欲ある演説をしてくれました。開票の結果、生徒会三役は以下のように決定しました。

生徒会長：R.Nさん

副会長：T.Sさん・Y.Hさん・K.Fさん

新しいリーダーの皆さんには、是非よりよい角中のために力を発揮してほしいと思います。



「LA VOCE」&「ha-j」による40周年記念コンサート開催！

40周年記念として、声楽アンサンブル「LA VOCE」の皆さんと本校OBのh a - j さんに来校していただき、コンサートを開催しました。

前半は、「LA VOCE」の皆さんが素晴らしい歌を披露してくれました。歌の中には、東京芸大音楽科の同級生だった本校OB、故本田武久さんの作詞した曲や合唱コンクールの各学年の課題曲もあり、角中生はその歌声や歌う姿に引き込まれるように聞き入り、本物の迫力に圧倒されていました。

その後、発声指導や質問タイムをはさんで本校OBであるh a - j さんが登場・・・。「すずかけの道」を創るに至った経緯をお話いただき、その後h a - j さんの伴奏で「すずかけの道」を「LA VOCE」の皆さんと一緒に全校生徒が合唱しました。

前半はプロの声楽家の素晴らしい歌声に感動し、後半はプロの皆さんと一緒に音楽を楽しみながら、和やかで素敵な時間を共有することができたコンサートとなりました。

プロの方の本物の歌唱に刺激され、指導もいただいた角中生は翌日からの合唱練習に精力的に取り組んでいます。来週の合唱コンクールも楽しみです。



裏面もご覧ください・・・

「**すずかけの道**」ができるまで…

本校第2の校歌ともいえる「すずかけの道」ができるまでのいきさつや本校の卒業式で歌われることになったきっかけを書いた14年前の記事（Sぷれっそ・坂本佐穂さん）をこの機会に紹介します。字が小さいですが、本田武久さんとh a - jさんの思いに触れてほしいと思います。

「Sふれっそ 2011.1月発行 Vol.14」より



すずかけの道

作詞／本田武久
作・編曲／ha-

雪が解けて 芽吹く落のとう
春風に桜舞う ひのきない川

雷が飛び交い、かえるの鳴き声
夏の空染め上げて、花火が散る

くじけそうになった時は
ふるさと 支えてくれるね

大切なもの かけがえのないもの
 気がついた今日からは
 生きてゆける

山の息吹き おやま囃子
懐かしいかけ声に 少年に燃る

くじけそうになった時に
仲間が そくに居ながら

夜は明ける 季節はめぐる
またあしたに向かって
生きてゆける

このうたと一緒に
生きていこう

会場がひとつになった。治癒、練曲、練習
そして中学校とPTAの連携と協力。このの
瞬間を迎えるためにすべてが動いていた
のだ。

二人の愛憎や友達、地域の人々大勢集

また、数々の最後には、本誌さんが褒め、声をづまらせる場面も、「……」さんはピアノを弾きながら生徒たちの方を何層も振り返し、やさしい微笑を顔に広げる。たぐさのあたたかい心が集結したこの瞬間をともし

過こせた下に涙を感涙した。

「すずかけの道」は、夢へ、未来へへ大きな羽ばたくための滑走路なのかも知れない。

声楽家は普通オリジナル曲を持たない。萬葉のことをブログで知たら、……さんは、本田さんだけのための曲を作った。要は、本田さん二人の友情と絆の証として、手紙の曲にこの曲を贈った本田さんは、いつも自分を支えてくれる……さんと仲間をテーマにして、初めての作詞に挑戦した。タイトルは、「……先生のこと」。

私の勝手な妄想が現実になるかもしれない、期待に胸が高鳴った。

数日後、ジョーさんはオーケストラの部員、ジョンの楽曲を依頼してくれた。

だが、結局「成功させておかなければならぬ」という強い意志がなければならぬ。

「オー・リッ・ミオ」一語唱へたが、口癖
「オー・リッ・ミオ」は本田さんの友人・和
雄美さん、途中で安部萬里さんもウリキ
で参加し、クリスマスソングを披露した
いよいよ「すずかけの道」り、ミさん
ピアノに始まり、本田さんの歌声、オー
ストの演奏へと続く。全編一様に歌

すずかけの道は 夢へと続く道

～くじけそうになったときに 仲間がそこにいたから～
2010.12.14

高校中学校に縁のある人ならすぐに思い浮かべるだろう。差別しそうな顔の全力疾走、仲間と走りながらゆっくりと板倉をまらせる競渡後。喜びの笑顔も悔し涙もラッパの音も聞いている。宿門と板倉をなくさぬ道。
 何回かのオーグスト湖でトランピットを担当した。現在は音楽家として活躍している二人（編者・Marikoは一見い／＼/名・佐藤浩>さんとデューム>歌手・本田文久さん）が、この湖を動かし出した。

歌い継ぐために

歌い継ぐために



たさむに音楽隊での相模原

[illegible]

昨年6月、Hayashi氏はオーケストラ団を訪れ、一緒に演奏することを楽しんだ。

母校で演奏を

母校で演奏を

● 人海を漂った魚

本田 星光耀のような不良っけい
人にあこがれてるけどなれない、
ブツの中学生でした。
he-1、いわゆる「モジャモ」生徒

◆健康へのメッセージを

本田 好きなことでいいから日
替わり替って、人と違うところは個性だと習って喜んで下さい。
[he] 毎日いろんなことがあると
思うが、後からそれは必ずいい思い出になる。今できることを大切に
一日一日を過ごして頂きたい。



har-さん 本田さん